

## 地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	アソビシロ
役職	
氏名	田尻泰崇
着任日	令和6年6月1日

活動月	令和7年4月（着任11ヶ月）
主な活動	1. 年度始め 2. 動画制作 3. 各ミーティング

### 1. 年度始め

新しいメンバーに入れ替わり、地域みらい留学の募集活動が本格的に始まる年度となりました。まずはご挨拶と引き継ぎ作業を行い、現状把握とこれからの動きを確認しました。ここで見えてきたのが3ステップあって、第一段階が【基礎を固める】第二段階が【魅力発信】第三段階が【留学後のサポートに関して】というものです。現状は第一段階がメインで第二段階は説明会に向けた準備というフェーズに入っています。この基礎固めの要素で最も重要なのが留学生がきた際の食住を豊かなものにすることと平常時、緊急時のサポート体制の部分となります。この部分がしっかり確立されていないと宣伝の部分に不安が生じてしまうので細かい事例を全国から集めて価格設定や具体的な詳細を話し合います。学校の意見、市役所の意見、地域の意見をそれぞれ尊重しつつ、ベストな選択肢を提供できるように調整中です。この基礎部分を固めた上で第二段階の魅力発信につながるのですが、次項にて記載します。この2点を元に地域みらい留学事務局が開催する説明会に参加するという流れです。スケジュールとして【オンラインテーマ別説明会】が5月に2回、【フェス・オンライン説明会】が5月末、【対面説明会】が6月に東京で行われます。このオンライン用の各説明会用資料、対面説明会用資料を各々のテーマに合わせて制作しています。

実際に学生に来てもらえるように魅力がしっかりと伝わる資料を完成させます。説明会で何を話すかという部分もコーディネートしていくので、引き続き担当者との話し合いを大切に進めていきます。

## 2.動画制作

募集活動にあたり、上記に示した説明会用資料の作成についてです。デザインの色は南九州市のテーマカラーである黄緑を基調に、見やすく高校の特色のポイントを押さえた内容となっています。今までのオンライン、対面説明会に参加して写真よりも動画を効果的に使用したプレゼンの方が説明が入ってきやすいと感じたため、説明会用の動画を計6本制作しました。しかし、オンラインの説明会の持ち時間は一校5分となるので、長い動画を流すのは難しいです。最大1～2分で魅力をまとめられるように編集を行いました。この動画を流しながらナレーションで説明者の声が入るという構成にしています。例えば川辺高校のテーマ別説明会のテーマは【地域との交流】となっています。昨年の7月から川辺高校が参加する地域イベントに参加し、動画の素材してきました。この素材のなかで地域イベントに学生たちがどのように参加して、交流を行っているかが記録されているので、短いもので分かりやすい素材で編集します。地域がどのような場所で地域住民との距離感がどのようなもので、そこに高校生がどう関わっているのか、この3つのポイントを押さえた動画を制作しました。薩南工業高校に関しては【ここにしかない自然環境】になるので南九州市の自然を短くまとめた動画を制作しました。これらの動画に基づいて説明会資料にて必要な寮情報、学校情報を追加説明していくという構成にしています。尚、説明会資料動画以外では、なぎなた部や書道部の紹介、地域住民にどんな人がいるのかを取り扱った動画などを制作し、対面説明会で使用する予定です。



### 3. 各ミーティング

説明会用動画を制作、資料の改良の作業を行う上で学校との話し合いは欠かせません。昨年7月から高校のイベントにお邪魔して取材を行い、何が魅力なのかをこの半年間で考えてきました。テーマ別説明会でも選ばれている【地域との交流】という点は川辺高校の強みの一つであると学校担当者とも共通の認識をしています。

高校時代に自立して衣食住を確立している大人たちと会話することは少ないと思います。現在、働き方は様々に変容していて、1つの会社に勤め定年まで働くという考えが常識だった世代から随分と変わりました。今は会社で働く選択肢はもちろんのこと、自営業、フリーランスでの働き方をしている方も多いです。

様々な形や価値観が存在していることを知るためにはそれだけ多くの意見を聞くことが重要になってくると思います。高校生という柔軟な感覚の期間にこのような交流が増えれば、将来に対する不安や狭い視野を広げることができる力を獲得できるのではないかと考えています。このような将来につながる魅力を説明会にて発信していきます。